



HOUSE OF JOY

～見える行動で見えない愛を表現したい～



一番大切なこと

愛とやさしさがあれば奇跡がうまれる。

長い間ハウスオブジョイを続けて来れたことは、ひとえに全国のみなさんのおかげだと思っています。

来年で 20 年になります。それはそれはいろんなことがありました。悲しかったことや嬉しかったこと、夢のようです。私も還暦になり、人生の最終の時が来ます。

そんな今になって思うと、一番大切なことは、土台に愛とやさしさがなければ何もできない、ということです。もしそれがあれば、願いはかないます。

こんなつまらないことを考えながらこれかそうらも生きて行こうと思います。

ハウスオブジョイ創設者 烏山 逸雄

2016 年前半の訪問者

この半年で、延べ 100 人の方が HOJ に来てくれました。こんな田舎まで本当にありがとうございます！中にはこの半年の間に二回来ている強者も何人かいます。リピーター率が高いのがハウスオブジョイの誇りです。相変わらず「友達の友達」というつながりで来てくれた方が多いのも嬉しいです。セブの語学学校から週末に HOJ に来る流れもかなり定着してきました。みなさん今後ともよろしくお願いします！

リエさん、一樹さん、関西大学のみなさん、ガクさん、ユウコさん、谷口さんご夫妻、山崎さん、摂南大学のみなさん、サヤさん、アサさん、ノブさん、ユカさん、メグミさん、高畑さん、タクヤさん、リナさん、エリカさん、キャシーさん、ヨシさん、アシピーさん、ブキチさん、社会事業大学のみなさん、マッキー先生、影戸先生、洗足教会のみなさん、伊良皆さん、足利中央ライオンズクラブのみなさん、イズミさん、チョメさん、ナオミさん、イッセイさん、セブで語学留学中のみなさん、ヒロコさん、チサさん、白百合幼稚園の先生方、ユキさん、泉田さん親子、阿部さん



ハウスオブジョイは訪問者を歓迎しています！日本を朝出発すれば、その日のうちにハウスオブジョイに到着できます。宿泊施設つきなので、短い滞在でも子どもたちとたくさん時間を過ごせます。一泊食事付きで 1300 ペソです(学生は 1000 ペソ)。滞在費が運営費になります。2015 年には約 70 万ペソの収入があり、これは HOJ 全体の収入の約 3~4 割を占めます。みなさんが遊びに来てくれるおかげで、HOJ の運営は成り立っています！

時期にもよりますが、ダバオまでの航空券は 3 万円~7 万円くらいです。土日は子どもたちと一緒に海や川で遊べます。サンゴ礁や滝などもありますよ！詳細はメールください！ sawamura@hoj.jp

HOJ オリジナルジープ完成！



多くの方の支援で新しく買った HOJ のジープ。こどもたちの絵から、支援して下さったみなさんが選んだデザインを元に、世界で一台の HOJ のオリジナルジープが完成しました！



作業をしてくれたのは町一番と噂の塗装職人さん。1 週間かけてヤスリでピカピカに磨き、サビ防止の下地を赤く塗り、色がきれいに入るように二層目の下地を白く塗り、それから職人技のマスキングテープ術で、曲線の多いこの難しいデザインを見事に再現してくれました。日給ではなく仕事全体でお金を払っているので、手を抜いてさっさと終わらせてもおかしくないんですが、すみずみまで本当に丁寧にやってくれました。職人魂に感謝です！



自分のデザインが反映されていてロウイーも大喜び！今回のデザインは、主にロウイー、ジュリアン、カテリン、ジョリーナの絵が元になっているんですよ。

オリジナルのエンブレムもつけました。板金と鉄棒を溶接したフィデルさんとドドンさんの手作りです。ヤシの木はバネになっていて、でこぼこ道を走るとビヨンビヨン動いてかわいいです！

1 台に全員乗れるので、ウラワビーチはもちろん、ダバオ遠足やダヒカンビーチに遊びに行くときにも便利です。他にも、薪ひろいや竹取りなどの作業でもジープは大活躍です。

集まった 66 万円のうち、42 万円が車の購入代金、初期修理に 7 万円、塗装に 5 万円、保険に 3 万円、その後の修理代がここ半年で約 5 万円かかっています。残りのお金も今後の修理代として取っておくことにします。今後も大事に使っていきたいと思います。支援してくれたみなさん、本当にありがとうございました！

ライオンハウス・プロジェクト



歌手のさだまさしさんが設立した「風に立つライオン基金」から、HOJに資金援助がありました。そのお金を使って、老朽化の激しかった築 17 年の男子居住棟を改築することになりました。

日本の建築業者さん、地元の大工さんのアドバイスを受けて、土台と屋根は残し、柱を木製からコンクリート製に入れ替え、壁を張りなおすことに決めました。

作業にあたるのは大工歴 30 年のダニーロさんと、その仲間たち。電動工具や重機を使わず、ほとんどすべての作業が手作業です。ノコギリで木を切り、自作の工具で鉄心を曲げ、スコップでセメントをこねて作業を進めました。

二週間で柱の入れ替えが終わり、次の一週間は壁と天井の張り替え、次の週は窓の設置と塗装、そして最後の週は電気系統と水道の導入をしたうえで、端材でベッドや棚も作ってもらい、5 週間で改築完了！すばらしく働き者な大工さんたちでした。



これで地震やちょっとくらいの台風がきても大丈夫！安心して暮らせる家で子どもたちを迎えることができます。感謝の意をこめて、この棟を「ライオンハウス」と命名しました。多くの子たちにとって思い出の場所となることでしょう！

その他のプロジェクト

ソーラー発電プロジェクト

私の授業を聞いてくれた関西大学初等部のこどもたちが自分たちで HOJ を支援するためにバザーを開催、その収益金を使ってソーラー発電システムを導入することを提案してくれました。停電が多いという話をよく聞いてくれていたんですね。

ダバオでソーラー発電の情報を集め、卸売りの店にたどりつき、300w のパネル、12V バッテリー、1200w のインバーターを購入。屋根に設置して完成です！ライオンハウスで夜使う電灯と扇風機のぶんくらいはこれでまかなえそうです。コストパフォーマンスがよさそうなら、順次他の建物にも導入の予定です！



サンロケ小学校給食プロジェクト

親しくしている校長先生が転任した先は、キリスト教の子とイスラム教の子が机を並べて勉強する、少し貧しい地域の小学校。約 20 人のこどもが「栄養失調」と診断されており、せめて昼ご飯は学校でちゃんと食べられるようにと、給食プロジェクトを始めることにしました。

町役場とも交渉して、食材代は行政が負担してくれることになったので、給食室の整備とスタッフの給料ぶんの資金提供をインターネットで呼びかけたところ、20 の方が賛同してくれて、めでたく給食プロジェクトが始まりました！今後もこのプロジェクトが長続きするように見守っていきたいと思います。



ウラワ井戸プロジェクト

手押しのポンプをウラワビーチに設置することにしました。地元の井戸掘り職人さんに依頼したところ、3 日で水脈を掘り当てました。フィリピンの職人さんのすごさには本当に驚かされます。海で遊んだ後の水浴びはもちろん、ボール遊びなどで喉が渇いたときにも井戸は大活躍！3 万円～5 万円くらいで設置できることが分かったので、今後必要なところに井戸を掘るプロジェクト、やりたいですね！

今年はたくさんの方の支援のおかげで、以上のように多くのプロジェクトを行い、大幅に設備を整えることができました。中身も立派になるように、スタッフ一同、こころしてこどもたちと一緒に暮していきたいと思います！

トピックス

ようこそ 4 兄弟



新たに 4 人のこどもが HOJ にやってきました。リサメイ (13 歳)、リセル (11 歳)、ロスジェーン (9 歳)、リッキー (7 歳) です。反政府組織に参加したお父さんが捕まってしまう、生活が成り立たなくなって HOJ にやってきました。お父さんが釈放されるまでは一緒に暮らすことになりそうです。女の子が増えてエミリーはとっても嬉しそうですよ！

マニラへの旅立ち



別々の親戚の家で暮らしていたジュヴィー、ジョリーナ、ジェリカの 3 姉妹が、マニラで美容室を営む叔母さんと一緒に暮せることになりました。HOJ の看板娘だったこの 3 人が遠く離れてしまうのは寂しいですが、一緒に暮すことはこの子たちの悲願でした。それが叶うのは嬉しいことです。3 人とも、大きくなったら自分で HOJ まで遊びにおいで、待ってるよ！

マンゴー超大豊作！



2 月なかばから 5 月なかばまで一度も雨が降らず、このままフィリピンは砂漠化するのか？と思っていたんですが、そんな中、敷地内のマンゴーがまさかの大量作！いつも以上に甘くておいしいマンゴーが、毎週段ボールいっぱい採れました。この時期に遊びに来た方は本当にラッキーでしたね！

マリアフェに赤ちゃん誕生！



ウラワビーチで暮らしている卒業生、マリアフェに 3 人目の赤ちゃんが誕生です！名前はなんと、私と鳥山さんの洗礼名からとって「シンサイモン」。うーん、何かあったら支援せざるを得ませんね、この名前は。(笑) 幸せいっぱいのマリアフェ家族、今後も見守りたいと思います！

素敵なボートで目指せ日本！



洗足教会のみなさんにいただいた本格的なゴムボートが楽しすぎます！このまま日本に行く！と沖に漕ぎだしたリッキーとジェイム。日が暮れる前には戻って来てね。(笑)

秘境・アリワッグワッグの滝



HOJ から車で約 4 時間、ジャンジャンたちの実家がある町カティールのはずれに、秘境と呼ぶにふさわしい、すばらしい多段滝があります。滝つぼに飛び込んだり、滝の裏に入ったりもできる素敵なスポットです！冒険好きな方はぜひ！

レナリンが日本で研究発表！



HOJ を卒業してダバオの大学で日本語を勉強しているレナリンが、日本福祉大学の招聘で日本へ行き、大勢の前で日本とフィリピンの教育問題についての研究発表を行いました。堂々たる姿に感動です。もちろん京都や名古屋の観光もたっぷり楽しんだようです。さあ、来年の卒業が楽しみです！

リッキーがパレードに参加！



学校対抗のパレードショー大会に、トランペットでリッキーが参加しました。惜しくも優勝はできませんでしたが、街の祭りのたびに今後は出番がありそうで楽しみです。炎天下の中、暑そうな衣装で本当によくがんばりました。トランペットを貸してくれたガクさん、教えてくれたミサトさん、ありがとうございました！

イカ買って！



卒業生のエルバートがイカを売りに来ました。あれ？漁師になったの？と聞くと、バイクを買ったので漁師と契約して売り歩く仕事を始めたのこと。よく見ると連れている女性のお腹が大きいですね。結婚＆おめでた祝いで大量のイカを買いました。当分は食卓がイカづくしになりそうです。おめでとう、エルバート！

ボランティアスタッフ、ミサトさん



ボランティアスタッフが途切れずにずっといてくれるようになって助かっています。今度のスタッフは大学を休学して来てくれたミサトさん。ギターとトランペットが弾けて、料理ができて、動画編集が好きという、HOJ にはうってつけの人材です。8月の私の不在時にはずっとブログも担当してくれました。ミサトさん、ありがとう！



ジュリアンの怪我と退院

2月末にジュリアンが事故に遭い、足の関節を痛める大けがをしてしまいました。すぐにタゴムの病院に連れて行き、緊急入院。知り合いのツテをつたって、エアコン付きの、結構いい部屋を用意してもらえました。3週間の入院ののち、歩行器を使いながらのリハビリを続けること約1ヶ月、歩行器なしでも歩けるようになりました。今ではすっかり元気になって、走り回ったりしています。療養中もクラスメイトがしょっちゅうお見舞いにきてくれて、ジュリアンの人望を感じました。本当に良くなって良かったです！

ハウスオブジョイ日記

みなさん、「人生ゲーム」というボードゲームを覚えていますか？就職したり、結婚したり、こどもが産まれたりしながら進んでいくすごろくで、止まるマスによっていろんな人生のイベントが起きるんです。こどもの頃にやったのは全員がゴールしたときに、一番たくさんお金を持っている人が勝ち！というルールでした。

その、人生ゲームの英語版がフィリピンでも売られていたので、買ってきてこどもたちとやってみましたが、これはアメリカ版なのか、起きる出来事やなれる職業などが、あまりにもここの生活とかけ離れていてピンときません。

というわけで、ボランティアスタッフのアツシ君が中心になって、「**フィリピン田舎版人生ゲーム**」を作ることになりました！なれる仕事は**漁師**や**ジープ運転手**や**自動車修理工**。もちろん無職になってしまう確率もすごく高いです。カード用の写真は、実際にこの村でその仕事に従事している人に撮らせてもらいました。



起きる出来事も「猫におかずをとられる」「急に休日になる」「知らない人のパーティーに参加する」「なんか今日もしあわせ」などと、まさにフィリピンの田舎暮らしそのもの。どんどんこどもが産まれて6人、7人くらいになるのもフィリピンらしいです。生まれながらに学校に行けるかどうか分かれていて、それで就ける職業に差が出て、収入に大きな差が出るという現実も、ゲームのシステムに組み込みました。

このゲームの一番のポイントは「**お金が多いからって勝ちわけではない**」ことです。幸せなことが起きるたびにもらえる「ハッピーチップ」やこどもの数などが、勝敗を決する要因になる可能性もあるんです。

フィリピンの田舎暮らしを追体験するとともに、「人生の価値」を考えるきっかけにもなる、すばらしいゲームになりました。日本の教育現場とかで使えないですかね？

(澤村 信哉)

ハウスオブジョイ連絡先

House of Joy, Batobato, San Isidro,
Davao Oriental 8209 Philippines
携帯 : 63-903-184-6669 (澤村)
Email : hojoy2006@gmail.com (烏山)
sawamura@hoj.jp (澤村)

ダバオ事務局

149 Jasmin st, Barrio Pampanga, Donas Vil,
Davao city 8000 Philippines
TEL: 63-82-300-4256

支援団体

「**歓びの家**」(ハウスオブジョイ)を支える会
〒853-0005 五島市 末広町 3-6
TEL: 0959-72-7423 (中村)
代 表 下口 神父
事務局長 中村 真由美

ハウスオブジョイは皆さんの**愛**で支えられています。
今後もし支援をよろしくお願いいたします。

里親会員 : 年間 5 万円
(会員制度は目安です。金額は問いません)
口座名「歓びの家を支える会」
郵便振替 01730-6-44320

郵便局以外の金融機関・ATM からでも振り込めます。

0959-72-7423 (中村) TEL: 0044320
「0044320」(ハウスオブジョイ)の番号

ATM やインターネットで振り込みをされる方は、必ず
振り込んだ旨をご連絡ください。

ハウスオブジョイのホームページ
<http://hoj.jp>